

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公表番号】特表 2018-522757 (P2018-522757A)

【公表日】平成 30 年 8 月 16 日 (2018.8.16)

【年通号数】公開・登録公報 2018-031

【出願番号】特願 2017-560562 (P2017-560562)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

B 3 2 B 27/40 (2006.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/32 E

B 3 2 B 27/40

B 6 5 D 65/40 D

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 29 日 (2020.9.29)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) フィルムであって、

(i) 0.930 g/cm^3 未満の密度及び 126 未満のピーク融点を有する、 $70 \sim 100$ 重量パーセントの直鎖状低密度ポリエチレンを含む第 1 の層、

(ii) $0.905 \sim 0.970 \text{ g/cm}^3$ の密度及び $100 \sim 135$ の範囲でピーク融点を有する、 $60 \sim 100$ 重量パーセントのポリエチレンを含む第 2 の層、ならびに

(iii) $0.930 \sim 0.970 \text{ g/cm}^3$ の密度及び $120 \sim 135$ の範囲でピーク融点を有する、 $40 \sim 100$ 重量パーセントの高密度ポリエチレンを含む、前記第 1 の層と前記第 2 の層との間の少なくとも 1 つの中間層を備える、フィルムと、

(b) 前記フィルムの前記第 2 の層の外部表面上に位置し、ポリウレタンを含むコーティングと、を備える、コーティングされたフィルム。

【請求項 2】

前記コーティングされたフィルムが、ASTM F 1921 - 98 のシーリング条件下で、 $80 \sim 180$ の温度範囲にわたって耐熱性であり、前記温度範囲の低温側の温度は、コーティングされたフィルムが ASTM F 1921 - 98 に従って測定されたときに少なくとも 1 lbf/in のヒートシール強度を示す温度であり、前記温度範囲の上限温度は、コーティングされたフィルムが、コーティングされたフィルムにおける変形により、ASTM F 1921 - 98 に従って、ヒートシール強度を測定することができないような溶落ちを示す温度である、請求項 1 に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 3】

前記コーティングされたフィルムが、前記コーティングされた表面上で、 60° で少なくとも 70 ユニットの光沢を有する、請求項 2 に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 4】

前記フィルムの前記第 1 の層の前記外部表面上のコーティング量が、 $1 \sim 7 \text{ g/m}^2$ で

ある、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 5】

前記コーティングされたフィルムは、前記コーティングされた表面上で、A S T M 1 8 9 4 に従ってフィルム - 金属間が測定されたとき $0.15 \sim 1.0$ の動摩擦係数を有する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 6】

前記ポリウレタンが、(a) ヒドロキシル末端ポリオールまたはウレタン、及び (b) イソシアネート官能性プレポリマーから形成される、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 7】

前記ヒドロキシル末端ウレタンが、ヒドロキシル末端ポリエーテル系ウレタン、ヒドロキシル末端ポリエステル系ウレタン、及びヒドロキシル末端ポリエステル - ポリエーテル系ウレタンのうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 6 に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 8】

前記フィルムが、 0.92 g / cm^3 以下の密度及び $120 \sim 135$ の範囲でピーク融点を有する、 $50 \sim 100$ 重量パーセントのポリエチレンを含む、前記第 1 の層と前記第 2 の層との間の 1 つ以上の低密度中間層を備え、かつ / または前記フィルムが、バリア層をさらに備える、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルムを備える、物品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0092

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0092】

本発明のコーティングされたフィルムの種々の実施形態は、例えば、広範な耐熱性範囲、コーティングされた表面上の高光沢、コーティングされた表面上の安定した摩擦係数、及び / または他の特性を含む 1 つ以上の望ましい特性を有することができる。いくつかの実施形態において、本発明のコーティングされたフィルムは、幅広い耐熱性範囲を有する。本発明のいくつかの実施形態によるコーティングされたフィルムは、 $80 \sim 200$ の温度範囲にわたって耐熱性である。本明細書において使用する場合、耐熱性の範囲のより低い温度は、コーティングされたフィルムが A S T M 1921 - 98 に従って測定されたときに少なくとも $1 \text{ lb}_f / \text{in}$ のヒートシール強度を示す温度である。本明細書において使用する場合、耐熱性の範囲の上限温度は、コーティングされたフィルムが、コーティングされたフィルムにおける変形により、A S T M 1921 - 98 に従って、ヒートシール強度を測定することができないような溶落ちを示す温度である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0139

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0139】

【表 10】

試料	最大耐熱性 (対面曝露)
試料 E	420° F
試料 F	410° F
試料 G	260° F
試料 H	420° F

本発明は次の実施態様を含む。

【請求項 1】

(a) フィルムであって、

(i) 0.930 g/cm^3 未満の密度及び 126 未満のピーク融点を有する、70 ~ 100 重量パーセントの直鎖状低密度ポリエチレンを含む第 1 の層、

(ii) $0.905 \sim 0.970 \text{ g/cm}^3$ の密度及び 100 ~ 135 の範囲でピーク融点を有する、60 ~ 100 重量パーセントのポリエチレンを含む第 2 の層、ならびに

(iii) $0.930 \sim 0.970 \text{ g/cm}^3$ の密度及び 120 ~ 135 の範囲でピーク融点を有する、40 ~ 100 重量パーセントの高密度ポリエチレンを含む、前記第 1 の層と前記第 2 の層との間の少なくとも 1 つの中間層を備える、フィルムと、

(b) ポリウレタンを含む前記フィルムの前記第 2 の層の外部表面上のコーティングと、を備える、コーティングされたフィルム。

【請求項 2】

前記コーティングされたフィルムが、ASTM F1921-98 のシーリング条件下で、80 ~ 180 の温度範囲にわたって耐熱性である、請求項 1 に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 3】

前記コーティングされたフィルムが、60° で少なくとも 70 ユニットの光沢を有する、請求項 2 に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 4】

前記フィルムが、インフレーションフィルムである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 5】

前記フィルムの前記第 1 の層の前記外部表面上のコーティング量が、 $1 \sim 7 \text{ g/m}^2$ である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 6】

前記コーティングされたフィルムが、前記コーティングされた表面上で $0.15 \sim 1.0$ の摩擦係数を有する、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 7】

前記ポリウレタンが、(a) ヒドロキシル末端ポリオールまたはウレタン、及び (b) イソシアネート官能性プレポリマーから形成される、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 8】

前記イソシアネート官能性プレポリマーが、芳香族イソシアネートを含む、請求項 7 に記載のコーティングされたフィルム。

【請求項 9】

前記ヒドロキシル末端ウレタンが、ヒドロキシル末端ポリエーテル系ウレタン、ヒドロキシル末端ポリエステル系ウレタン、及びヒドロキシル末端ポリエステル-ポリエーテル系ウレタンのうちの少なくとも1つを含む、請求項7または請求項8に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項 10]

前記フィルムが、 0.92 g/cm^3 以下の密度及び $120 \sim 135$ の範囲でピーク融点を有する、 $50 \sim 100$ 重量パーセントのポリエチレンを含む、前記第1の層と前記第2の層との間の1つ以上の低密度中間層を備える、請求項1～9のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項 11]

前記層のうちの1つ以上が、 50 重量%以下、好ましくは 30 重量%未満の量で、ポリプロピレン、環状オレフィンコポリマー、またはそれらの混合物をさらに含む、請求項1～10のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項 12]

バリア層をさらに備える、請求項1～11のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルム。

[請求項 13]

(a) 0.930 g/cm^3 未満の密度及び 2.0 g/10分 未満のメルトインデックス (I_2)、ならびに 126 未満のピーク融点を有する、 $70 \sim 100$ 重量パーセントのポリエチレンを含む、単層フィルムと、

(b) ポリウレタンを含む前記フィルムの外部表面上のコーティングと、を備える、コーティングされたフィルム。

[請求項 14]

請求項1～13のいずれか一項に記載のコーティングされたフィルムを備える、物品。

[請求項 15]

前記コーティングされたフィルムが、 $20 \sim 200$ マイクロメートルの厚さを有する、請求項14に記載の物品。